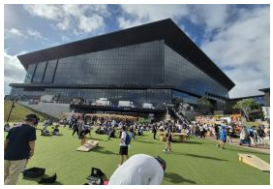
エスコンフィールド北海道（F VILLAGE）のすべて



2026 年 11 月 6 日　　JGA 第五支部研修終了報告

11 月 6 日（金)、オンライン形式にて第五支部研修「エスコンフィールド北海道（F VILLAGE）のすべて」を開催しました。参加者は担当者 3 名含め 17 名（会員 12 名、非会員 5 名)。1 講目は株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントの岡野由依氏からエスコンフィールド北海道（F VILLAGE）の全貌について。日本ハムファイターズは 2004 年に北海道に移転、札幌ドームが拠点でしたが多目的施設であるため、コンクリートの床に人工芝を敷く構造で、選手の身体負担が大きかった。そこで 2015 年から新球場の検討が始まり、2018 年に移転先を北広島市に内定、2020 年に着工、2023 年春から開業。屋根が開閉式の天然芝球場で収容人員は 35 千人、ホテルや温泉、クラフトビール醸造施設、子どもの遊び場を備えたユニークなボールパーク。飲食も北海道はもちろん、全国の有名店が目白押し。周辺にはマンションやメディカルモール、ホテル、商業施設等の開発が進行中。野球の試合がない日は無料で入場することができ、入場者数は初年度 2023 年に 346 万人、2024 年 419 万人、2025 年 459 万人と順調に推移。インバウンド客も 2025 年に前年比 2 倍の 3 万 6 千人。これからも「世界がまだ見ぬボールパーク」を目指すとのこと。2 講目は第五支部の恒川会員からエスコンフィールド（F VILLAGE）ご案内のポイントについて。駐車場からの動線、エントランス、スタジアム 1 階から 3 階の見所、飲食店、モデルコースについて解説。さらに追加情報として屋根の重量は 1 万トンで、その開閉装置を製作したのは北海道北広島市の企業であること、世界のスタートアップ企業を支援し、北海道のポテンシャルを高める取り組みも展開していることを説明。また親会社の日本ハムにとっても、創業以来最大の投資案件であった本施設がどのように意思決定されたのか、を説明。世界がまだ見ぬボールパークを創造し、北海道の観光振興や地域活性化につながる今回のプロジェクトに関して、大いに理解を深めた 1 日でした。（右下は講師、敬称略）





